

津山工業高等専門学校	開講年度	平成29年度(2017年度)	授業科目	チャレンジゼミナール
科目基礎情報				
科目番号	0006	科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	電気電子工学科	対象学年	3	
開設期	通年	週時間数	1	
教科書/教材	各ゼミで指定されたもの			
担当教員	松田 修			
到達目標				
与えられたテーマに沿って、主体的に問題に取り組み、問題を解決する能力を身につける。さらに得られた成果を適切な方法で表現する力を身につける。				
1. 多くの情報を理解できるようになること。 2. 他人の意見を理解し議論することができるようになること。 3. 得られた結果や成果を正確に表現できるようになること。				
ループリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	多くの情報の中から要点を整理し、さらに、それを有効活用できる。	多くの情報の中から要点を整理し、さらに、それを活用できる。	多くの情報の中から要点を整理できない。	
評価項目2	他人の意見を理解し議論し、次のステップに繋げ、発展させられる。	他人の意見を理解し議論し、次のステップに繋げられる。	他人の意見を理解できず、議論できない。	
評価項目3	得られた結果や成果を正確に表現し、さらに多くの人を理解させることができる。	得られた結果や成果を正確に表現できる。	得られた結果や成果を表現できない。	
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	<p>選択 基礎となる学問分野：1、2年生で学習した科目 本科目は一般科目の学習目標「(2)自律の精神を求め、創造性を身につける」に相当する科目である。 本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(D)課題解決能力の育成」である。 各研究室の指導教員が与えたテーマに沿って、総合的な学習に取り組む。研究室によっては、特定の課題を取り上げて研究活動を行う。</p>			
授業の進め方・方法	<p>少人数のゼミ形式で行う。 各研究室が提示する成績評価に従い評価する。</p>			
注意点	<p>本科目は、授業時間以外の自発的学習を含む科目であり、週1単位時間の時間数に対して、2単位が設定されている。 従って、授業時間以外の学習が必要である。 事前に希望する研究室を訪ね、内容をよく聞き履修すること。 関連科目：卒業研究（5年） 事前に希望する研究室を訪ね、受講上のアドバイスを受けておくこと。 授業開始10分までを遅刻とし、遅刻の回数が多い場合は、警告を行った後、欠課扱いとすることもある。</p>			
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス	
		2週	基礎知識の確認	
		3週	基礎知識の確認	
		4週	基礎知識の確認	
		5週	課題設定やテーマ設定	
		6週	課題設定やテーマ設定	
		7週	課題設定やテーマ設定	
		8週	情報収集 1	
後期	2ndQ	9週	情報収集 1	
		10週	情報収集 1	
		11週	情報収集 2	
		12週	情報収集 2	
		13週	情報収集 2	
		14週	情報の整理	
		15週	情報の整理	
		16週		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス	
		2週	データの分析 1	
		3週	データの分析 1	
		4週	データの分析 1	
		5週	データの分析 2	
		6週	データの分析 2	
		7週	データの分析 2	
		8週	研究結果の確認と問題点の整理等	
	4thQ	9週	研究結果の確認と問題点の整理等	

	10週	研究結果の確認と問題点の整理等	
	11週	論文やプレゼン資料等の作成と発表の練習等	
	12週	論文やプレゼン資料等の作成と発表の練習等	
	13週	論文やプレゼン資料等の作成と発表の練習等	
	14週	成果のまとめ（最終報告書）または発表等	
	15週	成果のまとめ（最終報告書）または発表等	
	16週		

モデルカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	課題	合計
総合評価割合	0	60	0	0	0	40	100
基礎的能力	0	60	0	0	0	40	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0